



# 12月1日は世界エイズデー



UNAIDS（国連合同エイズ計画）は2030年までにエイズの流行を終結させるという目標を掲げ、そしてそれは可能だと強調しています。今年度の世界エイズデー国内キャンペーンテーマは「あなたが変わればエイズのイメージが変わる。UPDATE HIV！」です。最新の、正しい知識を身につけ、差別・偏見を解消し、流行の終結につなげていきましょう。

## HIV/エイズとは

エイズは、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染することによっておこる病気ですが、HIV感染＝エイズということではありません。現在はさまざまな治療薬が出ており、きちんと服薬することでエイズ発症を予防することが可能になっています。

また、近年では効果的な抗HIV療法を受けて血液中にウイルスが検出されない、HIV陽性者からは、性行為によってほかの人にHIVが感染しないということが検証されました。これをU（Undetectable/検出できない）＝U（Untransmittable/感染しない）といいます。



## 感染経路

HIVは主に血液や精液、膣分泌液に多く含まれており、感染経路は3つです。

### ①性行為による感染

日本国内で圧倒的に多い。性行為中に性器や肛門、口などの粘膜や傷口を通して感染します。

### ②血液を介しての感染

HIVが存在する血液の輸血や、依存性薬物の使用における注射器具の共有などが原因で感染します。

### ③母子感染

母親がHIVに感染している場合、妊娠中や出産時、また授乳時に赤ちゃんに感染することがあります。

## こんなことでは感染しません

HIVは感染力が弱く、日常生活においては性行為以外で感染することはありません。



電車のつり革



蚊に刺される



美容院



お風呂やプール



握手・ハグ・軽いキス



咳やくしゃみ



トイレの共有

## HIV感染を予防するには

HIV感染で最も多い経路は性行為です。

HIV感染を防ぐためには、必ずコンドームを使用すること、またパートナーに使用してもらうことが重要です。

コンドームの利用は、HIVだけではなく、様々な性感染症（＝STI）の予防に有効です。現在、若者を中心にSTIの感染者が増加しています。STIに感染したら放置せず、パートナーと一緒に治療を受けましょう。STIはHIV感染の可能性を高めます。これらを予防できるコンドームを必ず使用しましょう。

## 梅毒の感染増加が止まりません。

近年、梅毒患者の報告数が急増しています。男性は20～50代、女性は20代が突出して増えているのが特徴です。性的接触の後、いつもと違う症状が現れるなどして、梅毒に感染しているか不安な時は、早めに医療機関や保健所で検査を受けましょう。梅毒の検査も保健所で無料・匿名で受けることができます。